ミニシンポジウム

国内産アワビ・トコブシ類の安全性
—セイヨウトコブシ毒化に関連して—*1野口玉雄*2 (東大農), 宮澤啓輔*2 (広大生物生産),
松居 隆*4 (東大農), 塩見一雄*5 (東水大)

まえがき

最近, 輸入されたスペイン産セイヨウトコブシに毒性が認められ, その毒は麻痺性貝毒 (主成分は STX 群) であることが判明した。わが国の水産業にとって最重要貝類であるアワビ類の安全性が危惧されたので, セイヨウトコブシの試験結果を基に, 毒の化学的性状, 毒化機構および貝類の生理生態などの面から国内産アワビ類の安全性を検討すべく本シンポジウムを企画した。

国内産アワビ・トコブシ類の安全性
—セイヨウトコブシ毒化に関連して—
企画責任者 野口玉雄 (東大農), 宮澤啓輔 (広大生物生産), 松居 隆 (東大農), 塩見一雄 (東水大)

開会の挨拶

野口玉雄 (東大農)

座長 西尾幸郎 (四国大)

1. セイヨウトコブシの毒性試験
長島裕二 (東水大)
2. セイヨウトコブシの毒組成
荒川 修 (鹿大水)
3. 国内産アワビ, トコブシの安全性
浅川 学 (広大生物生産)
座長 山森邦夫 (北里大水)
4. アワビ, トコブシ類の生態について
浮 永久 (養殖研)
5. アワビ, トコブシ類の餌料生物—微細藻類について
吉松定昭 (香川県赤潮研)
6. 総合討論
野口玉雄 (東大農)
宮澤啓輔 (広大生物生産)
塩見一雄 (東水大)
松居 隆 (東大農)

閉会の挨拶

*1 Safety of Japanese Abalones as Food Related to Toxication of the Ormer *Haliotis (Eurotis) tuberculata*.

*2 Tamao Noguchi (Laboratory of Marine Biochemistry, Faculty of Agriculture, The University of Tokyo, Bunkyo, Tokyo 113, Japan).

*3 Keisuke Miyasawa (Faculty of Applied Biological Science, Hiroshima University, Higashi-Hiroshima, Hiroshima 739, Japan).

*4 Takashi Matsui (Laboratory of Marine Biochemistry, Faculty of Agriculture, The University of Tokyo, Bunkyo, Tokyo 113, Japan).

*5 Kazuo Shiomi (Department of Food Science and Technology, Tokyo University of Fisheries, Minato, Tokyo 108, Japan).